

平成30年度大学コンソーシアムとちぎ 学生活動支援事業 報告書

機 関 名	足利大学 看護学部
団 体 等 名	ピアエデュケーションサークル Moiré (モアレ)
学生代表者氏名 (所属・学年)	森 桃子 (看護学部 2年)
責任教職員氏名	富山 美佳子 (看護学部 精神看護学 講師) [Redacted] 島田 葉子 (看護学部 母性看護学 助教) [Redacted]

1. 事業名	高校生に向けての性教育講話
2. 実施時期	平成30年9月3日 ～ 平成31年3月10日
3. 実施場所	事業を実施した高等学校、研修会開催地、学内
4. 事業の内容等	<p>1) 群馬県立の5つの高校におけるアクティブ-ラーニングを活用したピアエデュケーションの実践 (内容と実施の様子)</p> <p>①「受精と妊娠の基礎知識」：既習の性教育について復習するとともに、自身の命のかけがえがないことを確認する。また、人工妊娠中絶について理解を深め、命について検討した。</p> <p>②「性感染症の基礎と予防」：感染経路や感染の機序を理解し予防について考える。コンドームの正しい装着の仕方を演習した。</p> <p>③「SOGI」：セクシャルオリエンテーションと、ジェンダーアイデンティティについて、全ての人の問題であることを基盤とし、マイノリティについての理解を深めた。</p> <p>④「DV (ドメスティックバイオレンス)」：ハイティーンの日常の中に潜む暴力や虐待について、例示しながら考える。また、対処方法について、アサーティブなコミュニケーションを検討した。</p>



2) 研修会参加

J F P A主催「指導者のための避妊と性感染症予防セミナー」

2019.1.19：御茶ノ水：4名参加

J F P A主催「知っているようで知らない性の健康セミナー」

2019.1.19：御茶ノ水：3名参加



3) 学内伝達講習の開催

5. 事業の成果と今後の課題

平成30年度は上記事業内容を、下記の県立高校・対象学年・生徒数を対象に延べ90名余りの学生が実践にあたった。

9/3 (月) 群馬県立館林商工高等学校 2年生197名

9/6 (木) 群馬県立桐生西高等学校 1年生160名

9/11 (火) 群馬県立板倉高等学校 全学年生235名

9/12 (水) 群馬県立大泉高等学校 1年生165名

9/19 (水) 群馬県立西邑楽高等学校 1年生241名

いずれの実践先でも好評価を受け、平成31年度も継続して講話依頼を受諾している。

〈活動の広報〉

9月14日 上毛新聞で活動が取り上げられ報道された。



10月5日 本年度の活動をまとめ本学ホームページに掲載した。

10月6-8日 足利大学わたらせ祭にて、活動実践をまとめたショートムービーを作成し投影するとともに、教材等の展示を行った。

〈今後の課題〉

この度の助成金で、研修に参加できたことにより新たな教育の企画への手がかりが得られている。参加者は学びをレポートし、新年度のサークル会議で伝達講習と新たなプランを企画する予定である。

サークル内では、栃木県内での活動が活性化するように、また高校生以外を対象としたプランも考えることを今後の課題としている。